

「教えて喜田先生！」子育てに悩む パパ&ママを応援！



学校法人喜田学園 通信制課程
東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
 - ◎受験対応個別指導コース
 - ◎中学生コース・社会人コース
- 目的に合わせた幅広い学びを
提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

子どもを褒めるコツ

なぜ人は褒められたいのでしょうか？
人には「自分の存在を認められたい」という承認欲求があります。その欲求を満たすものが、人から褒められることなのです。

子どもを褒める時、皆さんはどんな言葉を使いますか？通知表を見ながら「算数はよくできていますね。でも国語は全然だね」と伝えられた時、子どもの反応はどうでしょうか？「でも」より前に伝えた「算数はよくできています」と褒めたことは子どもの心に届いているでしょうか？きっと子どもの心には、国語のことを注意されたことだけが残ってしまいます。

大切なことは、まずしっかりと褒めること。仮に褒めたい事とは別に注意したい事がある場合は、同時に伝えるのではなく、時間をずらしたり別の日にしたり。時間的な差を作ることです。褒める時はしっかりと褒めてあげましょう。

さまざまな保護者の方と接してきた中で、褒め上手の人は、沢山の褒め言葉のレパ

学び・自立支援を通して

子どもの未来を創ります

喜田 紘平

東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー

トリーを持っていました。子どもの心の成長のために、日々褒め言葉を考えたり、褒める練習を鏡の前でするそうです。子どもを上手に褒めることで、子どもの心が成長していく様子を側で拝見させていただき、「褒める練習の大切さ」を保護者の方から教えていただきました。

注意をしたいときは「そして」

何かを注意したいときは、接続詞に「そして」を使うことが大切です。「算数は今回すごく頑張ったね！よくやったね！」（間）そして、次回は国語も更に頑張れるともしっかりとステキだね！」と伝えることができれば、次へのモチベーションが上がります！

大人も同じです。例えば旦那さんに「料理はうまいんだけど、部屋の片づけは全然だね」と言われて、奥さんは料理を褒められたことは嬉しいでしょうか？それより「いつもおいしい料理を作ってくれてありがとう。そして更に家もきれいになるともっとうれしいな」と言われたとしたら、言葉の受け取り方が変わると思います。